

2009 “この1年を振り返る”

# 笛吹市 10(重)大ニュース

平成 21 年の年の瀬を迎え、各部・局・支所のご意見をいただきながら、笛吹市や市政全般におけるこの 1 年を振り返り、笛吹市の 10(重)大ニュースとしてまとめてみました。

## 定額給付金の支給を県内トップで開始

市民第一主義の観点から、市民に 1 日も早く支給することを目指した結果、3 月 19 日に県内トップを切って定額給付金の支給を開始した。

9 月 24 日に終了し、支給合計は 26,857 件、1,098,020 千円であった。

## 笛吹市都市計画マスタープランを策定

平成 20 年 3 月に本市の将来に向けた新たな長期ビジョンとして、第一次笛吹市総合計画を策定した。更に平成 18 年度から 3 ヶ年計画により、今後 20 年後の在るべき市を見据えたまちづくりの総合的な指針を定めた「都市計画マスタープラン」が平成 21 年 3 月に完成した。

## 新型インフルエンザ大流行

新型インフルエンザの世界的な流行の中、5 月 31 日、県内初の感染者が笛吹市に発生した。

本市においても「新型インフルエンザ対策行動計画」の策定や消毒薬の設置などにより対応した。

また、市民への予防対策として、患者となった場合の処置及び連絡等について周知をし、迅速な対応を行った。

## 笛吹市議会議員政治倫理規程の制定

市民の模範となるべき議員の市税等の滞納が発覚したことにより、市民の議会に対する信頼を大きく失墜させたため、議員自ら市民の信頼回復をめざし笛吹市議会議員政治倫理規程が 6 月に制定された。

## 市民活動・地域づくり支援ポータルサイトの構築・本稼働開始

市民への情報発信や情報の共有を行うことのできる支援ポータルサイト（名称 よっちゃばるネット笛吹）を 8 月より本稼働し、34 団体が登録した。アクセス数も増加している。

## 衆議院議員総選挙で開票効率県内トップ

8 月 30 日に執行された衆議院議員総選挙において、投票総数、確定までの所要時間、作業職員数に基づいて算出した職員 1 人が 1 分間に処理した票数が 6.81 票であり、本市の開票作業効率が県内でトップだった。

また、投票所を 40 から 29 箇所とし、経費の削減、事務の効率化が図られた。

## 上下水道使用料金の統一

平成 16 年 10 月の合併時より懸案事項であった、水道使用料金が 11 月検針分から、下水道使用料金は平成 22 年 6 月請求から統一料金に改定となる。

## 現場からの教育改革リレーフォーラム in 笛吹開催

10 月 10 日、「教育ビジョンの具現化を目指して」をテーマに、基調講演や 4 つの分科会が開催され、400 人を超える保護者、教職員等が参加した。

## 「甲斐国千年の都笛吹市」宣言

笛吹市の千年の歴史を分りやすくまとめた冊子を発行した。10 月 12 日、招待者など 300 名が列席した笛吹市制施行 5 周年記念式典の中で、「甲斐国千年の都笛吹市」の宣言を行った。

## 初めての「就職ガイダンス」を開催

10 月 27 日、市として初めて求職者の就業促進と求人企業の人材確保を支援するため「就職ガイダンス」を開催した。

雇用情勢が悪化する中 169 名の求職者が参加し、各企業のブースで面接を受けていた。

また、就職相談コーナーを設けて、専門家による相談会も同時に実施した。

## その他こんなこともありました

### 市税等のコンビニ収納がスタート

4月から、多様化する市民のライフスタイルに合わせ、市税、国民健康保険税の納付が、いつでも、どこでも、全国のコンビニエンスストアや郵便局で納めることが可能となった。

### 国際友好都市ドイツ・バート・メルгентハイム市使節団来庁

4月17～20日、国際友好都市バート・メルгентハイム市の使節団が公式訪問した。また、4月18～26日までドイツ・イタリア・フランス・日本国際交流プロジェクト「虹のもう一方の端」絵画展を開催した。

### かすがい東保育所建設着工 ～指定管理者も決定～

旧春日居町時代からの懸案であった、かすがい東保育所の建替工事が、来年3月の完成を目指し、今年7月に着工となりました。また、完成後は、指定管理者としてあら川保育園が運営をすることに決定した。

### 山梨リニア実験線工事が、笛吹市内13.2km全線で工事着手

山梨リニア実験線事業開始以来20年近い歳月をかけ、沿線地区住民のご理解やご協力が得られ、今年10月、市内全線13.2kmでの工事着手となり、2025年東京名古屋間の中央新幹線開通予定の第一歩を踏み出した。

また、工事の影響で地区簡易水道の水源が枯渇し対策に追われ、現在は上水道事業から供給している。

### 山梨県消防協会操法大会ポンプ車操法の部において御坂分団が準優勝

9月6日に開催された山梨県消防協会操法大会ポンプ車操法の部において、笛吹市消防団御坂分団が準優勝の成績を収めた。

好成績は、市消防本部職員の精力的な指導のもと長期に渡る厳しい訓練の成果である。

### 芦川中学校の統合

条例が改正され、平成22年3月31日をもって浅川中に統合して廃校とすることが決定した。

### 藤壘の滝公園に彫刻設置

9月24日、北野生涯教育振興会から寄贈された彫刻が合計33基となり、藤壘の滝、ミズバショウと併せて3つアピールできるものが整った。市民や観光客の散策コースとして親しまれる名所となることが期待される。

### 石和町松本地内、高齢者世帯（兄妹4人）での火災

10月9日、石和町松本地内の高齢者の兄妹4人が同居していた家屋で、就寝中に台所からの出火が原因とみられる火災が発生し、一度に4人の尊い命が失われた。このような火災を未然に防ぐために、火災予防活動のより一層の充実を図っていく必要がある。

### 援農支援センターによる農業講習会開始

高齢化や担い手不足の果樹農家をサポートする人材の育成や新規就農者等の農業技術講習を目的に設立された笛吹市援農支援センターによる農業技術講習会が始まり、11月の剪定講習から80名が受講した。

### 境川浄・配水場建設に着工

笛吹市水道事業基本計画に基づいて、広瀬ダム用水を飲料水として活用するため、平成23年1月末の完成を目指して境川浄・配水場建設に着工した。この浄水場は1日当たり3,060tの原水を浄水して、境川地区、八代地区と石和地区の各一部に、安全で安心して飲める飲料水を配水することができるようになる。

### 住基カード交付率14%、証明書自動交付機利用率29%を超える。

12月18日現在住基カードの総交付枚数は10,007枚になり、交付率は14%となった。

証明書自動交付機の利用率は、住民票の写し等の証明交付枚数の29%を超える利用数となった。